

増田裕一 委員

私からは、阿佐ヶ谷住宅の件と、事務事業の件で何点か後ほど質問させていただきたいと思うんです。

まず、阿佐ヶ谷住宅なんですが、建築から半世紀たっていて、建て替えは必要不可欠であるというような認識ではあります。私なりにこの問題点を何点か整理いたしましたので、重複がない範囲で質問させていただきたいと思います。

まず、そもそもこの地区計画ということなんですけれども、公開空地を提供するということが前提条件となりますが、杉並区では、今回の計画案において、このオープンスペースというものは十分なものであるというような認識なのでしょうか。

拠点整備担当課長

オープンスペースといいましてもいろいろあると思います。公園とか広場状空地、歩道状空地、そういったオープンスペースがございまして、これは、先ほど申し上げたように、十分に、今以上に、今よりはよくなる、そういうような計画になってございます。

増田裕一 委員

先ほどの北委員の質問に関連してですけれども、ボーリング調査を行ったということなんですが、そもそもこのボーリング調査の詳細な結果というのを、都市環境委員会ですとか、また、住民の方に説明をされる際に公表される準備はあるのでしょうか。

拠点整備担当課長

このボーリング調査につきましては、阿佐ヶ谷住宅が実施したということがございまして、そういった意味では、阿佐ヶ谷住宅の調査結果を聞いてご報告したということでございます。これを公表できるかということにつきましては、阿佐ヶ谷住宅のほうにもちょっと聞いてみたいというふうに考えております。

増田裕一 委員

その調査の結果に関しましては、ぜひとも上げていただきたいと思います。

それでは、阿佐ヶ谷住宅の件、最後ですが、阿佐ヶ谷住宅は、杉並高校ですとか、近場でいきますと杉二小ですとか、また東田中ですとか、非常に学校施設が集積しておりまして、そういった意味でも、先ほどの質問でもありましたが、交通量に関しまして非常に心配があるという部分があります。そういった意味で、この東西通路、道路なんですけれども、何らかの規制を行う用意ですとか、そういった考えはあるのでしょうか。

拠点整備担当課長

東西道路に関する規制ということでございますけれども、今のところは、そういったようなことは協議しておりません。

増田裕一 委員

では、阿佐ヶ谷住宅の件は終わりました、事務事業概要に関しまして、質問を2点ほどさせていただきたいと思います。

まず1つ目なんですが、けやき路線とさくら路線に関してでございます。今現在、このすぎ丸バスですが、収支状況のほうはどのような形になっておりますでしょうか。

交通対策課長

南北バスすぎ丸の収支状況でございますけれども、速報値ということで、18年度の運行実績で見ますと、けやき路線については黒字でございまして、129万円余の黒字でございます。さくら路線につきましては、660万余の赤字という収支でございます。

増田裕一 委員

けやき路線に比べまして、さくら路線の赤字というものが非常に目につくんですけども、この赤字幅というのは小さくなってきているのでしょうか。

交通対策課長

さくら路線につきましては、年々乗車が伸びてございます。当初11月に開設しましたので、そこは除きますと、16年度で1日当たり338人ご乗車になったものが、18年度では435名ということで、今順調に乗客数が伸びている状況でございます。

増田裕一 委員

では、今後、さくら路線に関しまして、区なりに、乗車率ですとか収支状況を改善する何かお考えはありますでしょうか。

交通対策課長

さくら路線につきましては、年々、微増ではあるんですけども、ご利用者が増えているということで、私どもも、いろいろイベントがある際に出かけてまいりまして、バスのご紹介、お祭りによってはバスの車両を持ってきてPR等してございます。また、グッズ等も作成してございますので、まちにとって親しみを持っていただけるような取り組みを今続けているところでございます。

増田裕一 委員

ありがとうございます。

続きまして、カラス対策でございます。カラスネットということで住民の方にお配りしているかと思うんですが、私も近所をよく通るところなんですが、税務署の近辺で、よくこのネットがひっくり返されてごみが散乱しているという光景が見られたりもします。そういったような状況におきまして、ネット以外の何か対策を講じられようというお考えはあるのでしょうか。

清掃管理課長

カラス対策といいますが、集積所の美化ということのお尋ねかと存じます。

まず、カラス対策で申し上げますと、一番効果があるのは、容器でお出しただけなのがベストなわけでございますが、ライフスタイルがそれぞれございまして、なかなか容器というのが普及できていないという実態がございます。そのため、区では、今ご紹介のありましたカラスネットのほか、収集用のボックスであるとか黄色いごみ袋というような事業、あるいは夜間の収集というような形で、カラス対策に努めているところでございます。